

「ねりまシニアネットワーク」は、毎年開かれるねりまシニアセミナーの参加メンバーを主体にしたつぎの15団体で構成するシニアの交流組織です。

ねりまシニアクラブ・シニアピアーズ玄暉会・燦々会・よんき会・五友会・睦会・菜々会・八展会・

メロウ・メイツすばる・いちごの会・ELF (エルフ)・トリトンねりま・ひとみ会・虹の会・楡の会

ねりまシニアネットワーク 会報/NSN第19号 2008年11月22日発行 発行責任者/山本 雄一

発刊4年目をむかえる

◆平成17年創刊の本紙「会報/NSN」は、皆さんのご理解とご協力のもと、お陰様で隔月発行を続けて本号で19号となり、4年目に入りました。シニアネットワークの構成団体も12から15団体に増え、その交流組織としてのきずなを保つ本紙の役割はさらに重くなりつつあるようです。

◆そうした中で、この3年間を振り返ってみると、本紙の存在がどこまで皆さんの期待にお応え出来ているのかを自問せざるを得ません。いわゆるマンネリ化や惰性で、ただ同じことの繰り返しをしているつもりはないのですが、伝えるべき情報や意図を浸透するには一度だけでは済ませられず、手を替え、品を変えて試みていくことが結果を生むと思われます。

◆視点を読者である皆さんの立場に置き換えてみると、「興味のある記事がない」

「面白くない」という見方も多くあります。自身が関心のあることへの興味の持ち方が内側に向いているか、外側に向いているかの違いに気づけば、ご理解いただけることと割り切っていますが、いかがでしょうか？・・・・

◆認識論はさておいて、限られたスペースの中にいかに情報を豊富に盛り込むか、が読者の楽しみを広げるものとなります

が、多くを盛り込むことは、それぞれの文字数が削られ、かえって淡泊なものになります。もっとも、載せ切れない程の情報量に埋もれたことはまだほとんどありません。それどころか、情報量減少の懸念さえあります。つねに鮮度を保ち、つねに先をゆく内容をそなえることが求められています。

◆そこで、リフレッシュを進めたいと考えています。編集組織の見直し・充実や視点の変化を心掛けていきたい。そのための企画として、来春に会報についてのアンケートを実施して、皆さんからの卒直なご意見をまとめて、誌面づくりに役立てたいと思います。これからのNSN発展の原動力の一つになれば会報の役割が果たせます。 (編集責任者・庄村)

シニアボランティア会議

ボランティア会議は2年前に創設し、皆で参加できるボランティアとしてチャリティ・クリーンウォークを事業化しました。それ以来、暫く振りになります。来年早々の開催を予定しています。多くの方々のご出席を期待しています。

とき 平成21年1月9日(金)14時30分
ところ 谷原出張所 会議室

(練馬高野台駅交番の西隣)

初期の混迷から覚醒、新たな発展へ

「歴史があって、今がある」。お会いした役員の方からいきなり言われて、当方は何のことやら判らず、ポカンとするばかり。お話を伺えば、設立5年目になるELFは、考えて模索しながら今や安定した活動をされているようです。

★当初2年間の創成期では、色々な活動を楽しさで味付けして行なっていたが、個々に走り過ぎて、ELFは何のためにあるのか？の疑問の声が上がったとのこと。好きなことを、それぞれにやっている仲良しクラブでは、いずれ消滅してしまう、このままで良いのか、という会員の危機感から、あらためて基本的な活動形態を考え直すようになったのでしょう。

★全体活動として、毎月“定例会”と“歩こう会”を交互に行ない、この他に“分科会”を置いています。毎年3月の総会は、“定例会”と“歩こう会”の内容と実施日を決め、会員が参加しやすいようにする場であり、そのため事前に会員から行ないたい事のアンケートをとり、運営委員会で検討して、実施可能な具体案に煮詰めています。その年度に入りきらないものは次年度に廻す、とのこと。

★実際に、平成20年度の提案リストで、会員から寄せられた件数は、“定例会”と“歩こう会”を合わせて、70件余りでした。とても12月に入りきらず、会員の皆さんの関心の高さが伺えます。

★こうなると、運営委員の方の負担が大変、と思われそうですが、運営委員は「会の目的を達成する為、全ての会員のお手伝いをするという自覚」のもと、総会で選出された11名の委員の中から、互選により会長を選出。会長は、副会長・事務局世話人・会計・会計監査を委任の上、目的達成の為に努力しています。会長をふくめ11名という会の半数の方々が積極的に会の活動に関与されていることになりました。

★ここで重要なのが 事務局世話人（桑田さん）

の出されている広報誌。隔月発行ですが、カラーの写真やイラストが楽しい立派なもの。驚いたことに、桑田さんはこれを担当されるまで、編集のご経験が無い、とのこと。「会員の声を聞きながら、改良していった。会に入って、皆のために貢献すると共に、自分のパソコン技術が向上するのが楽しい」と、サラリとおっしゃる。まさにボランティア精神の真髄。また、「毎年の活動が計画化され、負担も大分軽くなった。変更があっても、大ごとにならず、他の人に頼めるようになった」とも言われ、計画的活動の重要性を、あらためて強調されました。

★分科会に目を転じると、個々の活動を活発化させるために、内藤副会長をまとめ役にして分科会間でコミュニケーションをとり、将来はオープン行事にできるように努めているとか。すでにオープン行事として会報/NSNに掲載しているのは、「コミュニケーション・マジック」と、「正しい近代日本史を共有する懇談会」。この「コミュニケーション・マジック」の大きな力となっておられた宇田川顧問が9月に急逝されたのは、まことに残念なことです。10月の例会は、「宇田川先生を偲ぶ講習会」となり、今後の活動に向けて、検討をされました。「俳句同好会」、「ボウリング同好会」、「世相を語り合う懇談会」、「カラオケサークル」も活発に活動中。さらには「パソコン同好会」も再開を検討中と伺いました。

★亀井会長のモットーをお聞きすると、

- ① 会の運営は、誰でもできるように書式（フォーマット）を統一し、計画的に。
- ② 運営委員会の会議内容は簡素化し、短時間に終了させる努力が必要。

とのこと。運営委員の負担が減り、皆が会の運営に参加できるようになれば素晴らしい、との想いを新たにして、取材を終えました。（丸山）

拍子木パフォーマンスの発端

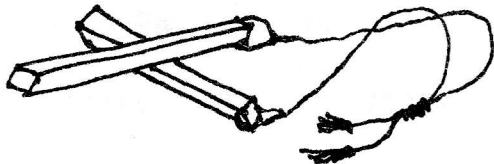
メロウメイツ すばる 鷺田 芳夫

拍子木は、幕内力士の紹介の区切りに「チョン」、千秋楽の手締めめに3・3・7拍子の合いの手に入り、歌舞伎では「柝（たく）」と言って開幕の鳴り物に合わせて「チョン・チョン」と打ち、幕が下手から上手に引かれ、幕が明け切ると「チョン」と一際大きく打って劇が始まります。日本の伝統芸能には欠かせないものです。

今から20年くらい前に、結婚披露宴の余興を頼まれ、在り合わせの角材2本と紅白の紐を使い、それらしく飾った拍子木を作り、その場の雰囲気に合わせて台詞を入れての余興が思いがけなく受けて、以後、結婚式や新築落成祝い、照姫まつりの打ち上げ、「すばる」に参加してからは、総会、新年会、忘年会をはじめ、NSNのサマーフェスティバルにも声をかけて頂きました。

拍子木も3代目になり、白樫で長さ八寸と、自作の桧の六寸の二組を用意し、場所を考えて使い分けています。原始の時代から多くの民族が、木や竹を使った合図のやり方をしていたと思いますが、日本の拍子木のような洗練されたものになって、現代に伝えられているのは少ないようです。

区の文化財保護推進員として本来の仕事のほかに、ささやかな伝統文化を受け継いでいるのだと自惚れている今日この頃です。



快晴の中 プレウォーク 開催！

お天気に恵まれ、世話人を中心に21名参加（大泉5名、石神井6名、中村橋6名、新桜台4名）、事故無く幕を閉じることが出来ました。ご協力に感謝致します。

途中、「ご苦労さん」、「有難う」と声を掛けてくれる人や、地域のボランティアで掃除をしている人に出会ったり、公園でたむろしている老人がゴミの分別の仕方を聞いてきたり、2時間足らずの間に沢山のふれ合いがありました。

ゴミの分別方法が変わり、今回は、可燃ゴミと不燃ゴミの2分類としました。成果は4コース合わせて4袋（可燃3、不燃1）、不燃ゴミが減って可燃ゴミが増えました。

本番のチャリティ・クリーンウォークは、来年3月27日（金）です。（三谷）

シニアセミナー企画委員会報告

9月4日に発足して以来、毎月開催している委員会では、新団体の楡の会の負担を軽減するため、過去の経緯を確認しつつ、楡の会のフレッシュな意見を取り入れるための作業を行なっています。

課題の会場確保については、区役所多目的会議室と同等の収容人数を持つ石神井区民交流センターも検討対象に入れることに。

講師選定については、複数候補を検討中だが、12月には選出できるよう準備を進めています。

第3回バス旅行 バス4台に！

11/27（木）富岡製糸場、妙義山の紅葉

予想をはるかに超えた参加申込みがあり、バスを1台増やし、4台で実施することになりました。状況は次号でご報告します。

（NSN 事務局）

オープン参加行事のご案内

☆ 講演と歌声・新春の集い

「ともしび IN 陸会」

ユーモア溢れる講演と「アコ」の
生演奏にあわせて青春の歌の合唱
(陸会創立 10 周年記念行事)

1/8 (木) 13:30

練馬区役所地下多目的会議室

講師 青柳常夫 氏

参加費 1,000 円

陸会 渋井 3923-3089

☆ 陸会オープンゴルフの会

1/16 (金) さくらイン 9:22

(コース) ノーザン cc 錦が原ゴルフ場

(フロント前集合) 8:30

(申込) 陸会 横山 3904-3129

☆ 毎月開催

シニア男性料理クラブ[新設]

会員募集

設立の準備など最初は、ねりまシニアクラブ
がサポートしますが、先発の 4 クラブと同様
先生と会員の自主的な独立した運営を予定。

(開催日) 毎月第 2 日曜午後

(会場) 石神井公園区民交流センター

(参加費) 1200 円程度 (20 人の場合)

(定員) 20 人前後

(講師) 練馬栄養士会の有志数人

(申込) (問合せ) ねりまシニアクラブ

山本雄一 Tel&Fax 3995-2217

● 毎月開催の次の行事、詳細は 直接下記宛問合せください

・コミュニケーション・マジック

初心者対象 家族・友人も歓迎

ELF 内藤 6760-2815

・Liebe リーベの会(愛唱歌を楽しむ会)

毎月第 1、第 3 水曜日 10:00~11:30

練馬公民館等

すばる 佐藤 3997-1707

・八展会囲碁クラブ例会

12/23(火・祭日)

1/12(月・祭日) 12:30~17:00

八展会 関野 5998-9888

・いちごの会ハーモニカサークル

(日時) 毎月第 3 週の水曜日 19:00 より

庄村 5936-6058

・正しい近代日本史を共有する

懇談会

毎月第 2 土曜日 16:30~18:30

谷原出張所会議室

ELF 頼永 3904-4564

NSN 定例連絡会 協議メモ

▼ H20 年 9 月 27 日(土) 13:30~16:30

協議事項

- ① チャリティ・クリーンウォーク
- ② バス旅行ちらし配布
- ③ 会報 10 月号発行
- ④ 第 16 回ねりまシニアセミナー

▼ H20 年 10 月 25 日(土) 13:30~16:30

協議事項

- ① チャリティ・クリーンウォーク
- ② バス旅行申込み状況
- ③ 会報編集委員 辞任、新任
- ④ ボランティア会議

編集後記

晩秋から初冬へ、季節はきまったように
巡っていきます。第 1 頁にあるように、本
紙も満 3 年が経ちました。このたび、編集
委員のメンバーの中村元功さんと西浦澄恵
さんが都合により退任され、創刊初期の顔
ぶれは、編集責任者を除き、編集委員全員
が入れ替わり、新編集委員として窪 和雄
氏が加わりました。事務局としてご参加
いただいている 3 役(山本会長と岩立氏、
横山氏)の顔ぶれは変わりありません。会
報作りの基本は新鮮な情報伝達にその使命
があります。各会の会長のみなさんが、各
会との情報交換に「要」としてご協力いた
だいておりますが、さらにその連携を強め
るために、各会で発行されている会報の編
集者との合同会議を開いてはどうか、との
話が連絡会議でご提案ありました。
Good Idea だと思います。その実現を模索
中です。また、本紙編集委員の候補者を募
集しています。

編集局までどうぞ声をおかけください。

(庄)

<問合せ・連絡先 03-5936-6058> 編集責任者/庄村 勝男(いちごの会)

NSN事務局 & 編集委員/伊知地哲男(ねりまシニアクラブ) 窪 和雄(玄暉会) 丸山敏雄(虹の会)